

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	避難所整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	05	02
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	鶴巻 浩二			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	避難所に避難する市民	意図	避難所への通路に手すりを設置する。
事業内容	避難所となる体育館等に避難する市民が安全に避難できるように通路等の整備、バリアフリー化などを行う。			
事業開始から現在までの状況変化	避難所である向小金小学校の体育館までの通路のスロープが急であるため手すりを設置し、避難者の安全確保を行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	避難所の安全対策を実施した数				1箇所	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	避難所の安全対策として、避難所そのものの安全性や、避難所へのアプローチ、バリアフリー化など、様々な整備が必要とされている中、特に整備の要望が多かった向小金小学校のスロープへの手すりの設置を実施した。			
事務事業の総コスト(a=b+c)			2,042,000				
事業費(b)(円)			536,000				
うち一般財源			268,000				
職員給与費(c)(円)			1,506,000				
人役・職員(人)			0.20				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	新規事業のため無し。
②今年度(H27)に実施した取組	向小金小学校のスロープに手すりを設置した。

③取組の課題	避難所の安全性に係るガイドラインを作成するなど統一したルールを作る必要性がある。
④今後の改善計画	整備の要望をヒアリングしたり、施設の点検など実施する。